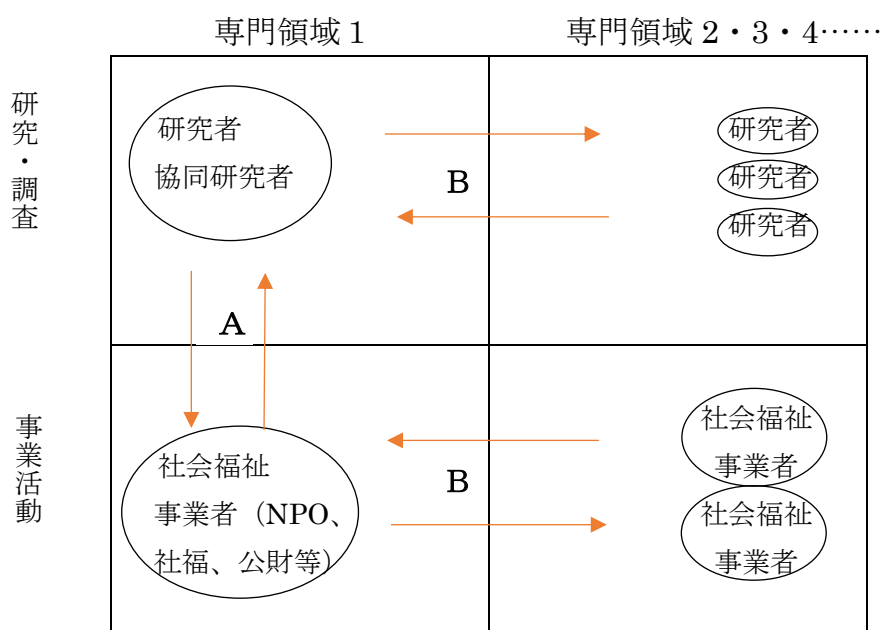


連携・協働型について

以下を参照して、連携・協働型に該当するか否かをご判断下さい。

1. 連携型に応募する場合：一つのテーマに対し、研究者と社会福祉事業者（もしくは現場の活動者）がチームを組んでいること。（下記概念図におけるAの場合）
2. 協働型に応募する場合：一つのテーマに対し、複数の異なる領域の専門家（主として研究者である場合が多いと思われるが、社会福祉事業者の場合もあり得る。）がチームを組んでいること。（下記概念図におけるBの場合）
3. 連携型と協働型を組み合わせることも可。
4. 研究者と社会福祉事業者（連携型の場合）、もしくは複数の異なる領域の専門家（協働型の場合）がそれぞれの得意分野を生かした明確な役割を分担し、互いにそれを理解していること。また、それぞれが、原則、対等な立場で役割を分担していること。
5. 上記のようなチームを構成することにより、研究者や社会福祉事業者が課題をより多面的にとらえ、深堀し、より有効な成果を目指していること。
 ≪一案件（テーマ・プロジェクト）における連携・協働の概念図≫



以上